



Network Registrar 設定ファイルの例

この付録では、このインストールに含まれているサンプルの設定ファイルについて説明します。このファイルは、BAC のインストール中によく使用されるファイルです。

設定スクリプト

この項では、サンプルの設定スクリプトについて説明します。このスクリプトをコピーして、BAC の実装作業に使用できます。サンプルの設定スクリプトのうち、1 つは DOCSIS モデム / コンピュータ用で、もう 1 つは DOCSIS モデム / PacketCable MTA 用です。

DOCSIS モデム / コンピュータ用のサンプル スクリプト

このサンプル設定スクリプト `nrcmd (bpr_cnr_hsd_sample_config.nrcmd)` は、フェールオーバーによる保護機能を備えた複数ホスト構成において、DOCSIS モデム / コンピュータを高速データ用に展開するのに使用されます。このスクリプトは `<BACC_HOME>/cnr_ep/samples/` ディレクトリにインストールされています。

このスクリプトは、次の前提に基づいて作成されています。

- DHCP プライマリ サーバの IP アドレス : 192.168.0.32
- DNS プライマリ サーバの IP アドレス : 192.168.0.32

このサンプル スクリプトは、次のオブジェクトを定義します。

- プロビジョニング済みクライアントクラス用のスコープ選択タグ オブジェクト。
- プロビジョニング済み DOCSIS モデム / コンピュータ用のクライアントクラス オブジェクト。
- 未プロビジョニング デバイス用のポリシー オブジェクトおよびプロビジョニング済みデバイス用のポリシー オブジェクト。この 2 つの相違点は、未プロビジョニング デバイスに対しては DNS サーバが割り当てられないことのみです。
- 未プロビジョニング DOCSIS モデム / コンピュータ用のスコープ オブジェクトとスコープポリシー オブジェクト、およびプロビジョニング済み DOCSIS モデム / コンピュータ用のスコープ オブジェクトとスコープポリシー オブジェクト。
- TFTP サーバをディセーブルにします。

■ 設定スクリプト

このスクリプトを実行するには、Network Registrar の **nrcmd** プログラムで次のように入力します。

```
<NR_HOME>/usrbin/nrcmd -N <username> -P <password> -b <bpr_cnr_hsd_sample_config.nrcmd
```

ここで、

- -N : ユーザ名を示します。
- -P : パスワードを示します。

DOCSIS モデム /PacketCable MTA 用のサンプルスクリプト

このサンプル設定スクリプト **nrcmd (bpr_cnr_pktcbl_sample_config.nrcmd)** は、DOCSIS モデム /PacketCable MTA を高速データ用に展開するのに使用されます。フェールオーバー保護を備えた複数ホスト構成も使用されます。このスクリプトも <BACC_HOME>/cnr_ep/samples/ ディレクトリにインストールされています。

このスクリプトは、次の前提に基づいて作成されています。

- DHCP プライマリ サーバの IP アドレス : 192.168.0.32
- DNS プライマリ サーバの IP アドレス : 192.168.0.32

このサンプル スクリプトでは、**P.A-1** の「DOCSIS モデム / コンピュータ用のサンプル スクリプト」に説明したものと同一ようなオブジェクトを定義します。

このスクリプトを実行するには、Network Registrar の **nrcmd** プログラムで次のように入力します。

```
<NR_HOME>/usrbin/nrcmd -N <username> -P <password> -b <bpr_cnr_pktcbl_sample_config.nrcmd
```